

# 富田林市指定管理者選定(評価)委員会 評価報告書

平成29年11月7日

富田林市指定管理者選定委員会

## はじめに

下表に掲げる10施設の平成28年度指定管理業務評価を目的に、平成29年7月18日より開催してまいりました富田林市指定管理者選定委員会について、同年10月12日を以て全日程を終了しましたので、その結果を報告いたします。

本委員会の評価結果が適切に活用され、更なる市民サービスの向上と各指定管理者による公の施設の管理運営が、より一層効果的に行われることを願います。

### ●評価対象施設(全施設、指定期間の4年目)

施設名	施設所管課	指定管理者
①すばるホール	生涯学習課	(公財) 富田林市文化振興事業団
②富田林市市民会館	生涯学習課	アクティオ(株)
③喜志駅地下自転車駐車場	道路交通課	センターパーキング富田林
④富田林市農業公園	農業振興課	農事組合法人 富田林市南地区協同組合
⑤富田林市ケアセンター	地域福祉課	(一財) 富田林市福祉公社
⑥富田林市立総合福祉会館	地域福祉課	(福) 富田林市社会福祉協議会
⑦富田林市立コミュニティセンター	地域福祉課	(福) 富田林市社会福祉協議会
⑧富田林病院	健康づくり推進課	(福) 恩賜財団済生会支部大阪府済生会
⑨富田林市立じないまち交流館	文化財課	富田林寺内町をまもり・そだてる会
⑩富田林市立総合スポーツ公園	生涯学習課	(株)オーエンス

## 1 評価の目的

指定管理者による施設の管理運営状況等について、客観的かつ多角的な視点から評価を行い、課題や改善点等を検証することにより、指定管理者制度の円滑な運用、並びに施設のより良い管理運営と市民サービスの向上を図ることを目的としています。

## 2 評価の実施方法

評価サイクルは下表のとおりであり、今年度はいずれも指定期間が5年間の施設の4年目評価を行いました。

委員会での評価実施にあたっては、自己評価並びに担当課評価を基にした、所管課による評価説明及び質疑応答を経て、各委員が、「指定管理者業務評価シート」の評価項目毎に1～10の10段階(10が最良)による採点評価を行いました。

### ●評価実施時期

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
指定期間	5年間	—	○	△	○	△	△
	4年間	—	○	△	△	△	
	3年間	—	○	△	△		

※△は自己評価及び担当課評価、○は自己評価、担当課評価及び委員会評価

### ●評価一覧

	評価実施者	評価	評価項目
自己評価	指定管理者	a～d評価	※22～23評価項目
担当課評価	施設所管課	a～d評価	※22～23評価項目
総合評価 (委員会評価)	富田林市指定管理者 選定委員会	1～100点評価	評価項目毎に委員の平均点を算出し、合計得点を百分率で換算

※施設の特性等に応じて、評価対象外の項目が存在する為、評価対象数が前後します。

### ●評価項目

指定管理者業務評価シート(資料)を参照。

## 3 評価基準

設定した評価項目ごとに1～10の10段階(10が最良)で評価し、以下の式をもって総合評価点数を算出します。なお、実施内容が、提案基準を満たしていると判断した場合の点数について、10段階の7と採点することと決しました。

$$\text{各項目の得点の合計} \div (\text{委員会評価項目数} \times \text{各項目の配点}) \times 100 = \text{総合評価点数}$$

#### 4 評価体制(委員)

区分	氏名	所属等	備考
外部委員	久 隆浩 委員	学識経験者（大学教授）	委員長
	置田 勝二 委員	学識経験者（農業関係団体役員）	職務代理
	西川 道夫 委員	学識経験者（弁護士）	
	山本 皓一郎 委員	学識経験者（会社経営者）	
	浅岡 紀巳子 委員	学識経験者（元幼稚園園長）	
	正木 隆行 委員	学識経験者（税理士）	
内部委員	竹綱 啓一 委員	副市長	
	谷口 勝彦 委員	副市長	
	芝本 哲也 委員	教育長	
	松田 貴仁 委員	市長公室長	
	藤田 佳彦 委員	総務部長	
	山下 治 委員	市民人権部長	

#### 5 評価日程

日時・場所	内容
平成29年7月18日（庁議室） 13時30分～16時00分	平成28年度指定管理業務評価について ①すばるホール(非公募) ②富田林市市民会館(公募)
平成29年7月27日（第2委員会室） 13時30分～16時00分	③喜志駅地下自転車駐車場(公募) ④富田林市農業公園(非公募)
平成29年8月21日（庁議室） 13時30分～16時00分	⑤富田林市ケアセンター(非公募) ⑥富田林市立総合福祉会館(非公募) ⑦富田林市立コミュニティーセンター(非公募)
平成29年10月12日（庁議室） 13時30分～16時30分	⑧富田林病院(非公募) ⑨富田林市立じないまち交流館(非公募) ⑩富田林市立総合スポーツ公園(公募)

※審議会等の会議は公開を原則としていますが、本評価内容については富田林市情報公開条例第6条第1項第2号の例外規定を適用し、委員会において非公開と決定しました。

## 6 評価結果

下表に示す総合評価点数は、評価項目ごとの採点の結果として得られる数値です。点数の目安としては、業務仕様や指定管理者の提案内容が満たされた問題の無い管理運営がなされた場合に概ね70点となります。

施設名	施設所管課	指定管理者
総合評価 (評価委員数)	委員会講評	
①すばるホール	生涯学習課	(公財) 富田林市文化振興事業団
65. 8点 (11名)	施設の運営について、団体との意見交換は行われているが、市民の文化創造活動の拠点としていくために、地域住民や利用者の個の声を直に聴く機会の設置について検討されたい。また、いかなる特性の障がい者にも、接遇や災害時の避難誘導等の対応ができるよう、研修や避難訓練の内容を検討されたい。	
【参考】 前回点数 66. 6点	今回の不正経理について、その改善策が既に実行されたということであるが、不正は再発するという前提に立ち、様々なチェック機能の強化のみならず、コンプライアンスの体制強化について不断に職員の育成・意識向上を図り、市民からの信頼の早期回復に努められたい。	
②富田林市市民会館	生涯学習課	アクティオ(株)
69. 5点 (11名)	利用者が減少した原因は、定期利用者の撤退によるものとのことであるが、例えば子育て世代の団体など高い集客力や広いネットワーク網を持つ団体との共催事業の開催や、団体の主催講座を誘致する、あるいは市民参加型イベントを開催するなど、新たな利用者を増加させるしきみを講じられたい。	
【参考】 前回点数 69. 9点	また、貸館の管理者という枠に収まることなく、地域のまちづくり活動に関わり、結果的に新たな利用者を生むことに繋げている団体もあるため、そのような例も参考にされながら利用客の回復に向けた対策を講じられたい。	
③喜志駅地下自転車駐車場	道路交通課	センターパーキング富田林
72. 3点 (10名)	経営状況については、指定管理者として努力されていることは評価できるが、施設内に設置されているAEDを全員が操作できる状況にはないとのことであり、改善されたい。また、近年の外国人旅行客の増加等の社会情勢を捉え、様々な配慮ができるような研修テーマを設定されたい。なお、研修は主に内部職員により行われているということであるが、外部組織が実施しているものの活用も検討されたい。	
【参考】 前回点数 73. 9点	利用者の声の反映について、アンケート調査が実施されているが、利用者が不安に感じている部分や更なる利用者の洗い出しに向け、その回収率の向上並びに更なる運営への反映を図られたい。	

④富田林市農業公園		農業振興課	農事組合法人富田林市南地区協同組合
64. 3点 (10名)	園の設置目的である『農業の振興』の達成に向け、農業技術の向上に取り組まれていることは理解するが、天候による入園者数の減少は開園以来の課題であり、これまで富田林市南地区協同組合に対して本課題解決に向けた公園の魅力向上策を求めてきた。引き続き、農だけに頼らない公園運営の抜本的な発想の転換による魅力向上、並びに職員の経営についての意識及びスキルの養成を強く要望する。		
【参考】 前回点数 69. 1点	また、人件費の計上について、管理事業と自主事業とで按分しているとのことであるが、施設所管課におかれては、人件費以外の支出状況に照らし、その積算方法も含めた指定管理料額の適切さについて確認を行われたい。		
⑤富田林市ケアセンター		地域福祉課	(一財) 富田林市福祉公社
67. 2点 (10名)	危機管理策について、消防計画に基づく訓練が行われているということであるが、本施設は通常の避難所ではない福祉避難所としての側面があることから、現時点で策定されていない具体的な福祉避難所運営マニュアルの策定について、市ともよく協議しながら早期に検討を進め、大規模災害に備えた訓練を実施されたい。		
【参考】 前回点数 68. 8点			
⑥富田林市立総合福祉会館		地域福祉課	(福) 富田林市社会福祉協議会
69. 5点 (10名)	浴場の利用者増加策について、例えば寄席等の他のサービスと組み合わせるなど、新たな利用者を増加させるアイデア等の情報収集、並びに利用者からアイデアを収集するしくみの構築を講じられたい。		
【参考】 前回点数 68. 5点	消防訓練は実施されているとのことであるが、地震などあらゆる災害に対処ができるよう多様な訓練を実施されたい。また、人権研修については、実施するだけで終わることなく、どう対処できるかまで議論を深めることで、さらに施設管理に活かされるものと期待する。		
⑦富田林市立コミュニティセンター		地域福祉課	(福) 富田林市社会福祉協議会
67. 8点 (9名)	研修については、より効率的に職員が職務として受講できるよう、勤務体制や研修形式について検討されたい。また、消防訓練のみならず、地震などあらゆる災害に対処ができるよう多様な訓練を実施されたい。なお、研修計画については、バラエティーに富んでおり、非常に良い内容で実施されたと評価でき、今後も継続されたい。		
【参考】 前回点数 70. 0点	校区外のこどもの施設利用に関する制限については、教育委員会と調整しながら運用改善に取り組まれたい。なお、施設がより利用され易くなるような雰囲気づくりや地域拠点としての施設のあり方について議論されるよう望む。		

⑧富田林病院		健康づくり推進課	(福)恩賜財団済生会支部大阪府済生会
76.5点 (12名)	<p>苦情・要望等への対応について、待ち時間に関するものが散見され、実際にそのように感じている患者が多いことは事実である。建て替えを控えていることもあり、新たなコンピュータシステムの導入等による改善は困難と思われるが、今行われている、診療中患者の予約区分の掲出に加え、統計的な調査等による診療科目毎の予約数の調整など、現在可能な範囲において、より患者の理解が得られる対策を講じられたい。</p>		
【参考】 前回点数 70.5点	<p>また、院内で発生した問題事案については、職員間で情報共有し、病院に従事する者としての人権意識等のさらなる向上に努めていただきたい。</p>		
⑨富田林市立じないまち交流館		文化財課	富田林寺内町をまもり・そだてる会
67.1点 (12名)	<p>貸室の利用率について、28年度は一部利用を制限せざるを得ない事情があったということであるが、それを勘案してもなお低いと感じる。研修についても、最低限の内容は行われているが、接遇の向上や他市施設の事例研究など、その運営の質を向上させるものも必要であると思われるため、貸室の利用率の向上策と併せて検討されたい。</p>		
【参考】 前回点数 68.6点	<p>災害時の安全対策について、訓練は実施されているが、有事に対応するに十分なものであったのかどうかについては疑問が残るところである。そのため、利用者の属性を含めた様々な被害想定の中で、行動マニュアルを策定されたい。</p>		
⑩富田林市立総合スポーツ公園		スポーツ振興課	(株)オーエンス
66.8点 (11名)	<p>自主事業収入決算の伸長に比して、利用料金収入決算が低調であるが、自主事業の趣旨が「施設の利用率・利用者数向上のための事業」である以上、その実施に当たり、当該趣旨の考慮を踏まえた内容としていただきたい。</p>		
【参考】 前回点数 72.2点	<p>人権研修について、総論的な内容で実施されているが、公の施設の管理者としては、高い人権意識を求められるものであり、常に新しい見方・考え方が生まれる分野でもあることから、より新しい情報、具体的な内容により実施されたい。</p>		

## 7 全施設に共通する意見

指定管理者業務評価に際し、各委員より全施設に共通する意見について、下記の通りとりまとめましたので、今後の参考にさせていただきたいと考えます。

### 記

一. 評価基準の考え方について、評価の目安が策定され、施設間で一定の平準化は図られているものの、指定管理者と施設所管課との認識の相違がみられることから、この点について、十分な意思疎通を図られたい。

二. 各施設において、当該施設の指定管理者が、各々の創意工夫により各種研修を実施しているが、障がい理解や外国人への対応、情報セキュリティ対策など、公の施設の管理者として、新たに求められる知識やスキルも必要となる。そのため、施設所管課は、事前に示される指定管理者の人材育成方針及び年間の研修計画について、その妥当性や的確性を確認し、改善が必要なものについては、指定管理者と協議するなどの対策が必要である。

三. 収支状況について、管理経費の実態が事業報告書だけでは詳細に把握し難い側面があり、特に決算が予算より大幅に減少している支出項目は、施設所管課が、指定管理者への聞き取りを行うなどして、それが指定管理料の過積算によるものか、業務に影響がなかったのか等、当該費目の適切性を検証する必要がある。

以上